

1. 地理と気候

カンボジアは東南アジアのインドシナ半島に位置し、国土面積は約18万平方キロと隣国ベトナムの半分、タイの1/3、日本の約半分の国土を有している。東側はベトナム、西側はタイ、北側はラオスと国境を接し、南側はシャム湾となっている。国土は大半が平野であり、国土の中央をメコン川が南北に流れ、北西部の中心に巨大なトンレサップ湖（面積：乾季は2,600平方km、雨季は13,000平方km）を擁している。南西部のシャム湾及びタイ国境周辺並びに北東部のベトナム国境周辺に低い丘陵地帯が広がっている。

気候は熱帯モンスーン気候であり、季節は大きく6月～10月の雨季と、11月～5月の乾季に分かれ、3月～5月が最も暑い時期で日中の気温は40度に達する。雨季にはメコン川が増水し、トンレサップ川に流れ込み逆流を起こす。逆流した水は上流にあるトンレサップ湖に流れ込み、湖の規模は最大5倍にまで拡大すると言われている。